

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立青少年センター、堺市立青少年の家	
(2) 施設の設置目的	
青少年の心身の健全な育成を図るため	
(3) 所管部局	
子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども育成課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人大阪YMCA	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">・ 青少年等の諸活動に対する貸館業務・ 青少年の自主的、自発的な諸活動の振興・ 各種情報提供、啓発及び相談・ 青少年の組織的な団体活動の育成、指導及び助言・ 指定管理者による自主事業(多種多様な講座等の実施)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民等	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況(青少年センター)

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	<ul style="list-style-type: none"> ・一般団体、登録団体ともに施設の利用規定に則り、利用されていた。 ・安全確保については、日々の建物の点検を行い、異常箇所などがあった場合は堺市担当課に相談し改善するなど安全を確保した中で運営に努めた。 ・個人情報の取扱いに留意した。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員5名を配置し利用者への丁寧な対応を進めた。職員は普通救命講習や安全研修等必要な研修を受け、緊急時にも適切に対応できる体制を整えていた。 ・施設の維持管理においても迅速に修理整備に対応した。
施設の設置目的に沿った事業の実施	『青少年の心身の健全な育成を図る』という設置目的のもと、青少年の利用を促すため、貸館利用の促進、主催事業の充実、若者支援事業のイベント企画を実施した。
その他特筆すべき取組	コロナ禍で感染対策を講じた中での運営であるが、消毒や換気等利用者の理解・協力のもと、混乱なく利用いただいた。

イ 市による状況分析

施設の維持管理については、日常点検や市との連携を密にすることにより適切に行っていた。また、各種研修を計画的に実施することで職員の人材育成に取り組んでいた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA
利用者数(単位:人)	85,520	76,397	40,805	31,534	—
稼働率(単位:%)	51.0	52.0	41.6	40.7	—
利用者満足度(単位:%)	70.0	71.0	76.8	71.3	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	コロナ禍において安全安心に利用できる環境づくりを進めた。利用者に対しても利用変更、利用料金還付等で柔軟な対応を進めた。
意見・苦情・要望等への対応	利用者の苦情・意見等には速やかに対応するように努めた。また利用者アンケートなどの意見に迅速に対応し利用者サービスの向上に努めた。
その他特筆すべき取組	まん延防止等重点措置、緊急事態宣言に伴う臨時休館などの利用箇所の振替や利用団体への連絡などを迅速に行い、苦情などには滞りなく対応した。

ウ 市による状況分析

令和2年度に引き続きコロナ禍により利用者数は例年と比べて減少したが、利用者ニーズに柔軟に対応することで目標を上回る利用者満足度を得ることができていた。

2 管理運営状況(青少年の家)

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染対策のため、サーモカメラによる利用者の体調管理や消毒液の設置により、安全安心な施設利用に努めた。 年間2回の消防避難訓練を実施し、利用者にも参加いただいた。 個人情報書類を保管する棚は毎日施錠し、適切な取扱いを徹底した。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用案内と会館管理を適切に行えるよう、混み合う時間帯等には人員を多めに配置する等、効率的な勤務シフトにより管理運営を行った。 年間を通して、人権研修、安全教育研修等を実施し、青少年教育に携わるスタッフとしてふさわし人材の育成に努めた。 定期的に施設巡回を行い、危険箇所や修繕の必要な箇所の発見に努め、適切に管理した。
施設の設置目的に沿った事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 年度事業計画書で企画した事業は、臨時休館時以外は、予定通り実施した。 利用者アンケートを通じて、青少年教育施設としてふさわしくあるべく要望を調査し、事業に反映させることで利用者満足度の向上につなげた。
その他特筆すべき取組	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言等により、4月25日～6月20日まで臨時休館、6月22日～9月30日まで夜間区分を利用停止とするなかで、利用料金の還付及び振替を適切に行った。 新体育室建設工事期間は、駐車場縮小についての案内を適切に行い、利用者の協力をいただきながら、施設運営に努めた。

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染対策の徹底による安全安心の確保や、混み合う時間帯等における効率的な人員配置などにより適切な施設運営に努めていた。また、充実した各種研修を計画的に行うことで職員の人材育成に取り組んでいた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA
利用者数(単位:人)	119,682	97,887	40,225	33,466	—
稼働率(単位:%)	51.3	50.5	41.9	41.5	—
利用者満足度(単位:%)	67.1	73.2	71.3	83.0	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	全館無料Wi-Fiを設置し、利便性の向上に努めた。また、老朽化した4階プレイホールの壁紙、1階さかい場caféのカーペットを改修し、利用促進を行った。
意見・苦情・要望等への対応	利用者アンケートを実施し、意見を反映した。特に電球切れや水回りなど細かな管理を徹底し、職員が即座に対応することで、苦情に至らないよう努めた。
その他特筆すべき取組	令和4年度から運営を開始する新体育室について、近隣の学校等への周知に努めた。

ウ 市による状況分析

令和2年度に引き続きコロナ禍により利用者数は例年と比べて減少したが、指定管理者自らが4階プレイホールの壁紙等の改修を行うなど、適切な維持管理や利用者ニーズに柔軟に対応することで利便性の向上に努めた結果、例年を大きく上回る利用者満足度を得る結果となった。

2 管理運営状況(青少年センター)

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
指定管理者名		公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA
収入	指定管理料	43,300,000	43,700,000	45,585,000	45,585,000	45,585,000
	利用料金	5,233,150	4,804,110	3,501,755	3,307,320	5,150,000
	負担金	1,339,440	1,196,261	1,099,801	1,007,153	1,280,000
	その他	0	0	934,499	782,250	20,000
	合計	49,872,590	49,700,371	51,121,055	50,681,723	52,035,000
支出	人件費	34,484,955	35,395,686	35,875,656	37,052,371	36,240,000
	委託料	4,550,852	5,191,377	5,149,274	4,870,119	5,300,000
	総支出額に占める 委託料の割合	9.3%	10.4%	10.5%	9.9%	10.2%
	修繕費	1,329,064	539,000	75,680	103,400	500,000
	光熱水費	4,629,551	4,317,995	3,522,258	3,487,443	4,750,000
	その他	4,062,962	4,475,308	4,592,280	3,608,924	5,245,000
	合計	49,057,384	49,919,366	49,215,148	49,122,257	52,035,000
収支差額		815,206	-218,995	1,905,907	1,559,466	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収入	22,394,807	21,217,036	12,542,884	11,990,360	32,554,200
支出	21,744,824	21,257,108	15,047,057	16,245,467	32,412,200
収支差額	649,983	-40,072	-2,504,173	-4,255,107	142,000
(市への納付金の額)		—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	緊急事態宣言による休館に伴い利用料金収入、自主事業収入ともに大幅な減少となったが、消耗品費・光熱水費等をはじめとした経費節約に努めた。
------------	---

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により、令和2年度に引き続き利用料金収入が例年と比べ大幅に減少したが、光熱水費など諸経費の削減に努めたことで、当初の予定どおりの指定管理料で適切に管理運営を行っていた。

2 管理運営状況(青少年の家)

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
指定管理者名		公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA
収入	指定管理料	48,000,000	48,446,000	51,406,000	51,406,000	51,406,000
	利用料金	5,589,225	5,505,120	4,043,680	3,934,495	5,150,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	34,530	32,090	1,561,718	765,045	30,000
合 計		53,623,755	53,983,210	57,011,398	56,105,540	56,586,000
支出	人件費	36,676,641	35,552,127	36,188,578	40,180,991	37,000,000
	委託料	7,147,002	7,119,486	7,002,795	7,133,998	8,700,000
	総支出額に占める 委託料の割合	13.4%	13.5%	13.2%	12.9%	15.4%
	修繕費	514,080	365,165	242,220	436,700	600,000
	光熱水費	4,820,376	4,687,745	3,823,006	3,606,567	5,300,000
	その他	4,335,622	5,122,223	5,611,991	3,961,204	4,986,000
合 計		53,493,721	52,846,746	52,868,590	55,319,460	56,586,000
収支差額		130,034	1,136,464	4,142,808	786,080	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収入	12,817,820	13,720,137	9,077,357	7,067,193	20,110,000
支出	12,055,827	12,414,237	9,578,143	7,557,755	19,970,000
収支差額	761,993	1,305,900	-500,786	-490,562	140,000
(市への納付金の額)	—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時休館や夜間区分利用停止及び自主事業の臨時休講により、大幅な収入減となったが、光熱水費をはじめとした経費の節約に努めた。 ・臨時休館等による還付、振替処理を確実に実施し、経理の効率化に努めた。
------------	---

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により、令和2年度に引き続き利用料金収入が例年と比べ大幅に減少したが、光熱水費など諸経費の削減に努めたことで、当初の予定どおりの指定管理料で適切に管理運営を行っていた。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
年間利用者数(延べ)	青少年センター:80,000人以上 青少年の家 :90,000人以上	青少年センター:31,534人 青少年の家 :33,466人
年間施設稼働率	青少年センター:50%以上 青少年の家 :55%以上	青少年センター:40.7% 青少年の家 :41.5%

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者満足度	青少年センター:70%以上 青少年の家 :70%以上	青少年センター:71.3% 青少年の家 :83.0%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	青少年センター: 5,000,000円以上 青少年の家: 5,000,000円以上	青少年センター: 3,307,320円 青少年の家: 3,934,495円

イ 市による状況分析

コロナ禍ではあるが、利用者に対し丁寧な説明や予約対応等を行うことにより、利用者満足度は目標を上回り、特に青少年の家については大幅に満足度が向上した。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	コロナ禍による臨時休館、夜間区分の利用停止等により、大幅な利用者数減となったが、感染対策を確実にいき、安心して施設を利用いただくことで、高い利用者満足度を得ることができた。また利用料金の減収を効果的な経費削減により補い、適正な管理運営を行った。	コロナ禍により利用者数、利用料金収入は減少したものの、目標を上回る利用者満足度を得ることができたのは、適切な人員配置・人材育成や施設の維持管理、利用者への丁寧な対応に努めた結果であり、本市が求める水準を満たしたと評価する。
今後の取組	感染対策を確実にいきながら、さらなる利便性の向上に努め、利用推進を行っていく。また、青少年が集いなくなる施設をめざし、新たな事業を開発していく。青少年の家では新体育室の利用推進を進めていく。	施設の老朽化が進むが、新設した体育室を積極的に活用するなど、青少年の利用が一層旺盛になるよう自主事業の充実等を期待したい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの